

# 「東山温泉街賑わい計画」

a2200510 押部有姫

## 背景及び目的

観光形態の変化に伴い、温泉地における宿泊形態も変化しつつある。会津若松市の奥座敷とも言われる東山温泉街は、観光客の入れ込み数に比例して宿泊客も減少してきており、旅館・ホテルの倒産や空き家が目立つようになってきている。

団体客中心であった顧客から個人への転換、温泉街全体の景観や街路整備、旅館内で完結するシステムから温泉街散策を含めた街中や周辺地域の観光といった回遊性に対する魅力づくりなど、新たな魅力づくりが求められている。こうした状況下において、東山温泉協会、東山温泉活性化推進委員会などが中心となって、4つの小径を整備する事業がスタートしているが、多くの問題を抱えている状況である。

そこで、本研究は、4つの小径の現状を把握することにより、問題点とその解決方針を見いだすことを目的とする。

## 研究方法(フローチャート)



## 調査結果

4つの小径についての現地調査から、問題点を抽出し、景観・サイン・建物・街路・自然の5要素に分類・整した(表1)。その概要は、以下のとおりに要約できる。

### 黒川の小径

景観の問題が圧倒的に多い。全体的に暗く静かな小径であり、木々が伸び放題のため近くの川や滝などの景観を楽しむことが出来ない。また、街路については、砂利道や草が生えている道が多く、民家脇の通行などで不安感を抱く。空き家が2軒、小屋が2軒ある。灯りが少ないため夜は散歩しづらい。

ランプ橋は周りの木や草が鬱蒼と生えている状態で、サインが少なく迷う可能性がある。からり妓の小径

多くの往來の可能性のある小径。8つの飲食店等が立ち並んでいるが、目立った活気が見られない状態で、ディスプレイの汚れも目立つ。他の小道に比べて建物、街路の問題が多く、結果的には景観としても問題が多くなる結果となった。

道路が狭く歩道がないため、道行く人は度々通る車を気にしなければならず、落ち着いて散策できない状況。街路の問題は18件がひび割れや凹凸の道として上がっている。足湯は規模が小さく4~5名利用しか対応できず、その周辺の整備にも不満が残る。空き旅館が3軒、空き地が3箇所、空き店舗1軒、廃ホテル1軒。

### 岩山の小径

サインや建物が殆ど見当たらない。そのため、虚空蔵尊や馬頭観音などの見所の場所がわからない状況となっている。

建物が少ない分、自然や街路に目がいくが、魅力が少なく点在している。東山グランドホテルから先の道には、見所が少なく魅力に欠け、細い道は、日中でも暗い。

### 神秘の小径

1225段ある階段は、蹴上げが不揃いで、ひび割れの箇所も多く、木の枝が階段上にある、踏面が傾斜しているなど、安全性に問題がある。高齢者や障がい者には、負担が大きい。羽黒山湯上神社は壊れた物置、割れたままの窓ガラスなど手入れが行き届いていない。湯泉神社にシーソーやブランコ等があるが、汚れたまま隅のほうに置かれている状態である。

表-1 4つの小径に関する問題箇所の件数

小径	景観	サイン	建物	街路	自然	合計
黒川	53	9	18	30	29	139
からり妓	36	11	30	38	23	138
岩山	25	2	5	21	13	66
神秘	28	3	8	10	17	66
合計	142	25	61	99	82	409



黒川の小径



からり妓の小径



岩山の小径



神秘の小径

表-2 4つの小径における資源数

	認知資源	追加資源	可能資源	合計
黒川	8	1	5	14
からり妓	7	4	6	17
岩山	6	2	3	11
神秘	5	2	2	9
合計	26	9	16	102

■ = 資源 ● = 問題点

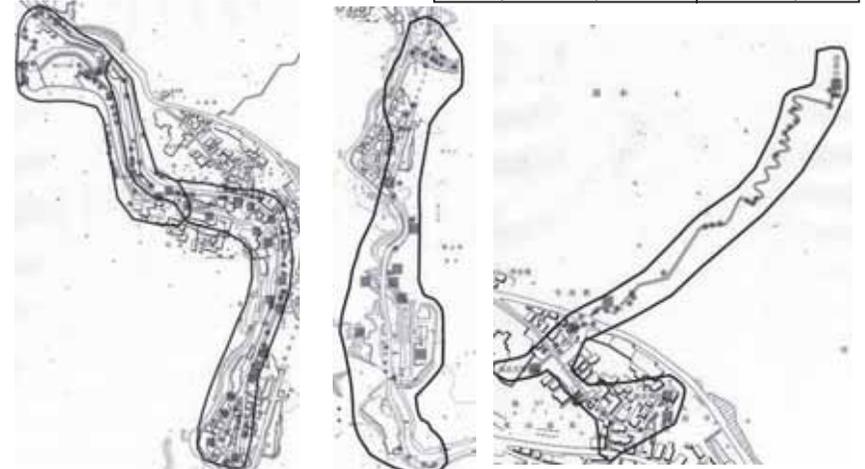


図-1 黒川・からり妓の小径

図-2 岩山の小径

図-3 神秘の小径

### 黒川の小径

現在ある資源の数は小径の中で一番多い。追加資源として挙げられているのは近くを流れる川である。小径に問題点が多く、資源は点在している形になっている。

### からり妓の小径

資源となるものの数が多い。追加資源としては主に川や足湯などが挙げられる。分布図を見ると商店街の方に問題点が集中していることがわかる。

### 岩山の小径

資源が真ん中あたりに集中し、問題点は点在している。上部と下部は問題点のみである。橋が追加資源に挙げられる。

### 神秘の小径

階段はほとんど問題点となっている。資源としては神社がほとんどであり、可能資源として公園が挙げられている。

### 4つの小径の整備方針

<b>黒川の小径</b> ・枝払い、草刈り等を行い視界を広げ自然景観を楽しむようにする。 ・足下に照明を設置し、夜の散歩への誘客につなげる。	<b>からり妓の小径</b> ・瓦灯を設置し夜でも歩き回りやすいように川の近くに大きな足湯がある川床を設置する。 ・思い出館内の資料を増やし、2階建てにするなどして広げる。
<b>岩山の小径</b> ・絵、解説を入れたサインを資源の前、歩道の途中に設置する。 ・雨降滝の近くに写真を撮る場所をつくる。	<b>神秘の小径</b> ・階段の途中に水飲み場やベンチを設置して休んだり景色を楽しむようにする。 ・足下を照らす照明、階段上部が見える照明を設置する。

### まとめ

今回の研究を通して、東山温泉には空き家問題だけでなく街路や景観など多くの問題があることを知った。空き家対策は資金的な厳しさもあるので柵を使い目隠しをするなどの配慮が必要である。また、沢山の資源が活かされないうまま残っていることが大変残念なので、小径の整備により多くの観光客が東山の歴史・会津の歴史に触れることが出来るようになって欲しいと思う。